

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



“阿津賀志山防塁” 国指定史跡の範囲が広がります

町では平成20年から阿津賀志山防塁の発掘調査を行っています。調査により、800年以上も前に作られた防塁の範囲や深さ、高さ、構造などの謎を紐解くため、阿津賀志山防塁調査・整備指導委員会の専門家の皆さんの指導のもと継続した調査を進めてきました。

調査によって防塁の遠矢崎地区(大木戸字遠矢崎地内)でも遺構の範囲が確認できたことから、町では国や県と協議し、史跡の追加指定手続きを行ってきました。

国の文化審議会で審議され、6月17日に文部科学大臣へ答申されました。

今後、文化庁での手続きが進められ、正式に遠矢崎地区が国指定史跡となる見込みです。

阿津賀志山防塁を、地域の誇りとして後世に伝えていくため、今後も史跡の保全や活用に努めていきます。



遠矢崎地区 (中央奥に見えるのが中土壘)

遠矢崎地区の防塁って何がすごいのか？

遠矢崎地区の防塁の特徴は、もともとの地形を利用して防塁が築かれているところです。

遠矢崎地区は森山第二集会所近くに位置しています。丘陵と河川の間には防塁が作られ、丘陵の傾斜や河川の湿地を利用し、敵の侵攻を阻もうとしたのではないかと考えられています。

他の地区では2本の堀が遠矢崎では1本に変化しており、防塁の構造に変化が見られる地点となっています。

※今回指定する箇所は私有地となっています。
立ち入りはご遠慮ください。



阿津賀志山防塁調査・整備指導委員会
中村 洋平さん

Interview

遠矢崎地区が新たに国指定になりました。遠矢崎地区は、地形の関係で二重堀が1本になる貴重な地域です。

ぜひ多くの方に見ていただきたいです。

歴史まちインフォメーション

国登録有形文化財

「旧小坂村産業組合石蔵」について



3月に発生した福島県沖地震により被害を受けた、国登録有形文化財「旧小坂村産業組合石蔵」について、復旧に向けさまざまな調査を進めてきましたが、損傷が大きく、やむを得ず解体することとなりました。

旧小坂村産業組合石蔵は、国見石を使った町内にある最大級の規模の石蔵で、当時の建築技術を知る上では大変貴重なものです。

所有者であるJAふくしま未来、国や県とも協議を重ね、建物の存続に向けて検討してきましたが、度重なる地震の影響により維持が難しく、解体することとなりました。解体工事期間中は周辺の皆さまにご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

☎ 企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967

Activity Report



和島 はづき
(Hazuki Wazima)



▲企画の中心となった野村鴻志さん



▲謎解き完了！

子どもたちが感動する瞬間をつくりたい！

放課後塾ハル中学部スタッフの和島はづき(わじまはづき)です。

今回は、放課後塾ハルに通う生徒が中心となって企画した「国見謎解き WALK」のイベント実施についてお伝えします。

4月から準備を進めてきた「国見謎解き WALK」は、雲一つない快晴のもと、子どもから大人、そして町民の方、町外の方の総勢25人が参加し、無事に開催することができました！

参加者からは「本気のやる気があれば、熱意が伝わり、人を動かし、素晴らしい企画が実現することを改めて身近に体験できた」などの言葉をいただきました。企画した野村鴻志さんが持つ、「大好きな国見町の魅力を伝えたい」という1つのエネルギーが、こんなに多くの人たちを巻き込めるということを体現したイベントでした。何よりも自分たちが楽しむことで、応援してくれる人が生まれ、チャレンジの循環を生み出すことができるのではないかと、我々スタッフも考えています。

今後も放課後塾ハルは地域に開かれた塾として、町民・町外の方と一緒に活動をしていく予定です。皆さま、引き続き応援のほどよろしくお願いいたします！



イベントの詳細は是非noteをご覧ください。

たかはし しゅうと

さかい ゆいな

やしま みゆ

きくち ほのか

くにみ幼稚園 (年長組)

心豊かな子どもたち